

# 作業療法士のかかわる 新型コロナウイルス感染症への 対策取り組み事例集


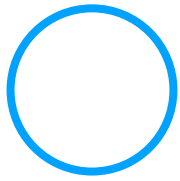
一般社団法人 東京都作業療法士会 区東部区東北部ブロック

区東部：墨田区、江東区、江戸川区

区東北部：足立区、荒川区、葛飾区



# 目次

- ◆ 作業療法士の働く施設とスタッフの感染対策
  - ◆ 作業療法室での感染対策の工夫
  - ◆ 体力低下の防止の支援
  - ◆ 東京都区東部区東北部 アンケート結果
    - ① 職場で行っている感染対策
    - ② 作業療法実施における制限と解決のために工夫していること
    - ③ 支援で感じるコロナウイルス感染症の影響
    - ④ 対象者の方の生活で工夫していること
- 
- 



# 作業療法士の働く施設と スタッフの感染対策①

スタッフが使用するパソコンはパーテーションで区切っています



オンラインでの面会を支援しています





# 作業療法士の働く施設と スタッフの感染対策②

新型コロナウイルス対策

『手で触れる共有部分を消毒しましょう!』のお知らせです

**共用部分(椅子、机、ドアの取っ手、/フ、ベッド柵など)**  
◆薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭きしましょう。  
物に付着したウイルスはしばらく生存します。

**家庭用塩素系漂白剤**  
◆主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認し、使用量の目安に従って薄めて使ってください(目安となる濃度は 0.05% です(製品の濃度が 6% の場合、水 3L に液を 25ml です。))。

**トイレや洗面所**  
◆通常の家庭用洗剤ですすぎ、家庭用消毒剤でこまめに消毒しましょう。

**タオル、衣類、食器、箸・スプーンなど**  
◆通常の洗濯や洗浄でかまいません。◆感染者の使用したものを分けて洗う必要はありません。◆洗浄前のものを共用しないようにしてください。特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどでは共用しないように注意しましょう。

**汚れたリネン、衣服**  
◆洗濯しましょう。体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う際は、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。

**糞便からウイルスが検出されることがあります**  
◆ゴミは密閉して捨てましょう

**鼻をかんだティッシュ**  
◆すぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。その後は直ちに石鹸で手を洗きましょう。

消毒の方法や注意について  
職員や利用者様など  
誰にでもわかりやすい  
解説書を作成して啓発

作業療法士らしく  
手作りガウンも使います



●  
●  
●  
●  
●

# 作業療法室での 感染対策の工夫①

パソコン作業は間隔を空けて、  
パーティションをしています



● ADL室では正面にパーティションを立てて、  
それぞれお菓子作りや作業を行っています





# 作業療法室での 感染対策の工夫②

作業活動も安全に安心して楽しめるように対策や工夫をして提供しています



安心して囲碁を楽しむための  
パーティションと手指消毒を  
設置しています

フィルム越しでもカラオケを  
安全に楽しめるよう、雰囲気や  
装飾もひと工夫しています



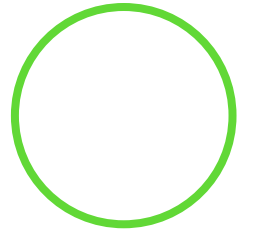


# 作業療法室での 感染対策の工夫③



使用した備品はその都度消毒します  
病棟の移動は最小限にして、  
リハビリの前後には必ず手指消毒をします

- 長時間のマスクは痛い！  
革細工の端切れで  
マスクのフックを作成



# 体力低下防止の取り組み

来院や通所を控える方に、生活が不活発にならないよう「家でもできるトレーニング」を作成したり運動の紹介をしたりしています。

・すべてやらなくても大丈夫です。できるものを2、3日に1回から始めましょう。

## 基本姿勢

安定した肘掛け付きの椅子を使用する。  
両足裏がしっかりと床につく。  
落ちないように深めに座る



## ① 上下運動

A: 持ち上げたまま 10 秒 保持  
B: 「上下に動かして 1 回」を 10 回連続で行う。



訓練に通えないときにもできるように個人個人にあったトレーニングメニューを作成しています。

ご本人やご家族向けにテレビで放送されている体操番組の情報をご紹介

サービス リハビリ ご利用者・ご家族様

ありがとうございます。現在までには、テレビ等を使った自宅でもできるため、ラジオ体操・みんなの体操、DVD を使った体操等にも取り組めます。以下の内容も健康維持のご参考にいただければと思います。

## うち時間でもできるテレビ体操の放送時間のご案内

誰もが知っている「ラジオ体操第1・第2」、長い間、人々に親しまれてきています。年齢や仕事などに関係なく、老若男女どなたでも気軽に行えますので、ぜひ生活の中に取り入れることをおすすめします。「みんなの体操」は年齢・性別・障がいの有無を問わず、すべての人々が楽しく安心してできる体操です。

### 中放送

- ◆Eテレ(リモコン番号2チャンネル): 毎週月曜～日曜 午前6時25分
- ◆総合(リモコン番号1チャンネル): 毎週月曜～金曜 午後2時55分  
毎週月曜～金曜 午前9時55分

### 再放送

- ◆総合: 毎週月曜～金曜 午前11時30分 (一部の地域を除く)
- ※放送の例↓(内容は変更することがあります)

番組名 放送時間	テレビ体操		みんなの体操
	Eテレ 6:25～6:35	総合テレビ 14:55～15:00	総合テレビ 9:55～10:00
月	みんなの体操 ラジオ体操第1	ラジオ体操第1	みんなの体操
火	オリジナル体操 ラジオ体操第2	みんなの体操	
水	みんなの体操 ラジオ体操第1	ラジオ体操第2	
	オリジナルの体操 ラジオ体操第2	オリジナルの体操	
	みんなの体操 ラジオ体操第1	リズム体操	
	みんなの体操 ラジオ体操第2		
	みんなの体操 ラジオ体操第1		放送休み



# アンケート結果

## ①職場で行っている感染対策

共通	<p>手指消毒の徹底、職員の毎日の検温、体調の確認。 マスクやグローブ、ゴーグル、エプロンの装着。 パーティションの作成。 一日二回のスタッフルーム内の清掃。 換気、備品や機器の毎回アルコール消毒。 会議や勉強会のリモート化。 スタッフ休憩のソーシャルディスタンス保持。</p>
病院	<p>家族の面会中止、面会せずにLINE電話などを活用。 向かい合う席にはパーティション、外部からの入院患者はPCR検査を実施。 入院患者と外来患者の利用するスペースを分ける。出入りする扉も別。 来院者の検温と体調管理。 屋外での訓練を制限。訓練室の使用を病棟毎に割り振って制限。 病院内を移動する際には、通路を限定する。</p>
通所・訪問	<p>対面レクリエーション等は中止。 啓発ポスターを作成・配布。 緊急事態宣言中のみ直帰直行、事務所滞在時間の制限を実施。</p>

# アンケート結果

## ②作業療法実施における制限と解決のために工夫していること

病院	<p>病棟でリハビリを実施し、患者様が病棟を移動することを制限している。 患者様が廊下に出る際にはマスクの着用を義務化。 OT室が使えていない。外出訓練は禁止。 基本的には入院患者のみリハビリを実施する。家族の面会も基本的には不可。 外来は入院患者との接触を避けて、曜日も限定したうえで自動車運転評価のみ実施。 自宅でのポジショニング等の訪問指導ができないため、施設内で写真撮影し、ポイント含めてケアマネから家族に伝達していただいた。 利用者さん自信やご家族様でも実施や継続できるリハビリ内容を取り入れるように意識している。 外来時は病棟患者のリハは行わず外来のみ行き、入院患者との接触はしないようにする。 入院患者は4病棟を2つに分けてOT室の使用を制限し、担当OTも制限している。</p>
介護老人 保健施設・ 通所・訪問・ 介護予防	<p>訪問時の利用者への手洗い・アルコール消毒・マスク着用協力依頼。 3蜜の回避、助成金を活用してパーテーションや清浄器の設置。 集団体操や買い物練習禁止。つながりが持てるような作業活動や、模擬的練習で代替え。 家族からの聴取は5分以内とし、フロアの移動を少なくする。 通所と入所の利用者を接触させない。体操の椅子間隔をあける。</p>

# アンケート結果

## ③ 支援で感じるコロナウイルス感染症の影響

共通	家族の面会に制限があり、家族指導が行えない。家屋調査が行えない。 担当者会議を書面で開催されるケースが多く、伝えたいことが伝えきれない。 公共交通機関の利用評価が行えない。外出訓練を十分に行えない。
病院	家屋評価は人数制限があり必要な指導や連携を図ることができているかの心配がある。 入院患者に対するPCR検査を実施するため、介入が遅延する。 家族指導や家族から病前の生活の聴取の不十分さがある。 外泊外出を踏まずに退院時に不安を抱えている人が増えた印象がある。
介護老人 保健施設・ 通所・訪問・ 介護予防	退院直後の訪問リハでは、家族指導や住宅改修、福祉用具の使用など不十分なことが増えている。 デイサービスに通うことが怖く感じている方がいる。 訪問において担当者会議等が省略されたり、人数が制限されることで、他事業所との連携が取りづらい。 介護予防では、通いの場の活動が中止となり、社会的交流の制限が危惧される。 担当していた利用者さんの中でコロナ罹患して回復された方がいた。 ご家族様が再感染を恐れて利用していたデイサービスを全て中止になった。 施設が閉鎖になった場合、他事業所同士で助け合えるようにと協力が可能となる話が行政から出ており、万一に備えて引き継げるようにと準備を検討したが、感染があった事業所の情報もなく、かなりの労力がとられたが曖昧なままだった。

# アンケート結果

## ④対象者の方の生活で工夫していること

病院	リモートでの面会を支援している。
介護老人 保健施設・ 通所・訪問・ 介護予防	自宅で運動を行うためのパンフレットを作成。 自宅で出来る運動の配布・中止者への自主トレ作成。 電話連絡で状況確認。  自宅でできる体操パンフレットを作成して、包括から地域住民約150人に郵送。  地域包括支援センターと連携して、人数を制限し感染対策を十分に行い、新しい「通いの場」を作り始めた。  「歩行ではなく自宅内移動」を意識していただくように模擬練習をするようにしている。 新生活様式のアイデアやフレイル予防、生活そのものがリハビリとなることを伝える等パンフレット作成や配布で啓発している。